

うちなだ 議会だより

笑顔も実る
さわやかな秋

Vol.131

平成29年(2017)

11月2日発行

石川県内灘町議会





心身ともに
健やかな成長を

鶴ヶ丘小学校

清湖小学校



向栗崎小学校



西荒屋小学校

内灘町議会



大根宿小学校

— 目次 —

4 9月会議

コミュニティバス増便に向け準備

6 施設利用料金の見直しを

平成28年度決算

9 委員会レポート

10 請願と意見書の審査

10 賛否の分かれた議案一覧

10 ようこそー視察受入状況ー

11 一般質問 8人が登壇

20 親善訪問 羽幌町・猿払村

21 ありやくどうなつたがいね

22 街かごインタビュー

お店屋さんシリーズ①

るびな・ぼいざべい 山崎由紀子・恵津子さん
灘乃華本舗あさ井 浅井泰彦さん
はねや 前田利幸さん



今年も豊作!!

表紙のごとば
「笑顔も実る」

さわやかな秋

9月25日(月)、旧消防署裏で行なわれた稲刈り体験。

(清湖小学校のみなさん)

増便に向け準備

9月会議
5日～22日

サイクリングターミナル
増築工事契約の締結
1億4774万円



コミュニティバス
準備費用
759万円



平成29年内灘町議会9月会議が開催され、補正予算のほか、条例、人事案件など計25議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

補正予算 (全員賛成)

一般会計 (第3号)

1億4794万2千円を追加、総額108億4214万2千円。

後期高齢者医療特別会計 (第1号)

35万5千円を追加、総額2億4625万5千円。

介護保険特別会計 (第1号)

3361万7千円を追加、総額18億6361万7千円。

条例改正 (全員賛成)

※条例名は一部省略してあります。

介護保険条例

過料規定の「第1号被保険者」を「被保険者」に改正。

地域包括支援センター条例

総合事業導入に伴う引用条項の整理。

包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例

引用条項の整理と主任介護支援専門員の基準を改正。

指定地域密着型サービスの基準を定める条例

「地域密着型通所介護」の人員、設備の条文追加と「複合型サービス」を「看護小規模多機能型居宅介護」に改正。

指定地域密着型介護予防サービスの効果的な支援方法に関する基準を定める条例

地域密着型介護予防サービスの地域との連携等の条文追加と「複合型サービス」を「看護小規模多機能型居宅介護」に改正。

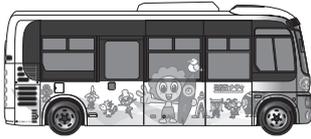
指定介護予防支援等の効果的な支援方法に関する基準を定める条例

指定介護予防支援事業者が介護予防サービス事業者等に訪問看護計画等の提出を求める条文と、関係者で構成される会議から協力の求めがあれば、協力を努める条文を追加。

専決処分 (全員賛成)

一般会計 (第2号)

内灘海水浴場設置運営費360万円を追加、総額106億9420万円。



コミュニティバス

緑台地区地域防災センター整備 1585万円



調査設計等委託料

735万円

旧緑台保育所解体費用

850万円

その他の主な事業

- 労働者派遣委託料 700万円
産前産後休暇・育児休業を取得する職員の増加。
- 宮坂学童保育クラブ引越費用 48万円
- 公的病院等運営費補助金 1億円
救急医療の確保と地域医療充実のため、金沢医科大学病院に運営費を助成。
- 高齢者住宅リフォーム助成金 100万円
見込みより申請件数が多いため増額。
- 海岸と内灘駅周辺にぎわいづくりの検討委員会設置 30万円
- 畑地かんがい施設修繕料・光熱水費 240万円
漏水による電気料の増額と経年劣化で腐食した配水管の修繕。
- 商業振興協同組合10周年記念事業補助金 30万円
- 海岸清掃業務委託料 100万円
海岸に漂着するごみの増加に対応。
- 大会出場補助金 200万円
北信越、全国大会への出場の増加。
- 小学校施設修繕費 200万円
電気設備、プールろ過設備等の修繕。
- 公民館施設改修工事 44万円
千鳥台公民館耐震改修工事の実施にあたり、仮設事務所を敷地内に設置。
- 創業支援事業補助金 284万円
空き家、空き店舗を活用して創業した事業者へ費用および家賃の補助。申請件数の増加。



中村

壽氏
(再任 大根布)



北川八千恵氏

(再任 向栗崎)

教育委員



浜田

寛氏
(再任 西荒屋)

公平委員

人事案件

(全員賛成)

契約金額

1億4774万円

(建築工事)

株式会社 豊蔵組

サイクリングターミナル増築工事

請負契約の締結

(全員賛成)

平成28年度水道事業会計未処分利益
剰余金1872万3260円のうち
1800万円を減災積立金に積立て
残余を繰り越す。

未処分利益剰余金の処分

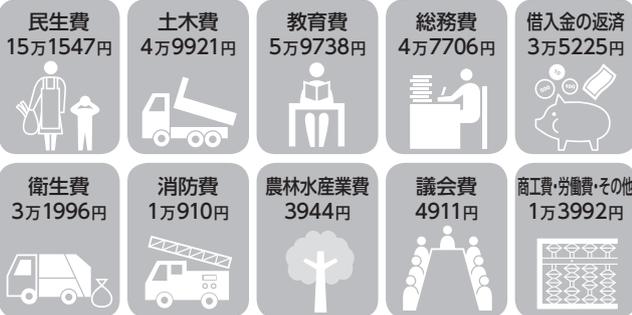
(全員賛成)

見直しを

町民1人あたりの費用

40万9890円 (一般会計)
(前年度34万5799円)

このように使われました



特別会計決算

会計名	収入額	支出額
公共下水道事業	15億6878万円	15億6871万円
新エネルギー事業	4851万円	4850万円
国民健康保険	32億703万円	34億1424万円
後期高齢者医療	2億4778万円	2億4762万円
介護保険	17億9744万円	17億9590万円

水道事業会計決算

区分	収入額	支出額
収益的収入及び支出	5億7208万円	5億4555万円
資本的収入及び支出	9952万円	1億6130万円

決算特別委員会



米田 一香 川口 正己 中川 達 夷藤 満
◎生田 勇人 ○七田 満男
(◎…委員長、○…副委員長)

決算ってなあに??

4月から翌年3月までの1年間に入ったお金と使ったお金を精算することだよ。議会では、使ったお金の効果の評価し、認定するよ。決算は次年度以降の予算に反映させるために重要だよ。



決算特別委員会の指摘事項

1. 指定金融機関のサービス向上を働きかけるべき

町が地方債の借入や定期預金を行う際、有利な利率で協力するよう働きかけを。

2. 「展望温泉ほのぼの湯」の使用料の見直しを図るべき

リニューアル前より施設管理費用が増加することを踏まえ、施設の有効活用と合わせて入浴料の見直しを。

3. 地元事業者に対する支援の充実を図るべき

創業支援はもとより、従来から存続する地元事業者に対する支援の充実を。また、創業支援補助金の返還は保証人をとることを要綱に盛り込む検討を。

4. LEDによるライトアップの調査をすべき

内灘大橋ライトアップ用のLEDは2年前の価格より安価になっていることも想定されるため、再度調査を。

5. 風力発電施設の将来像を検討すべき

今後、維持管理費も増加することが想定されるため、他自治体の動向を調査し、将来的にどうするかを検討を。

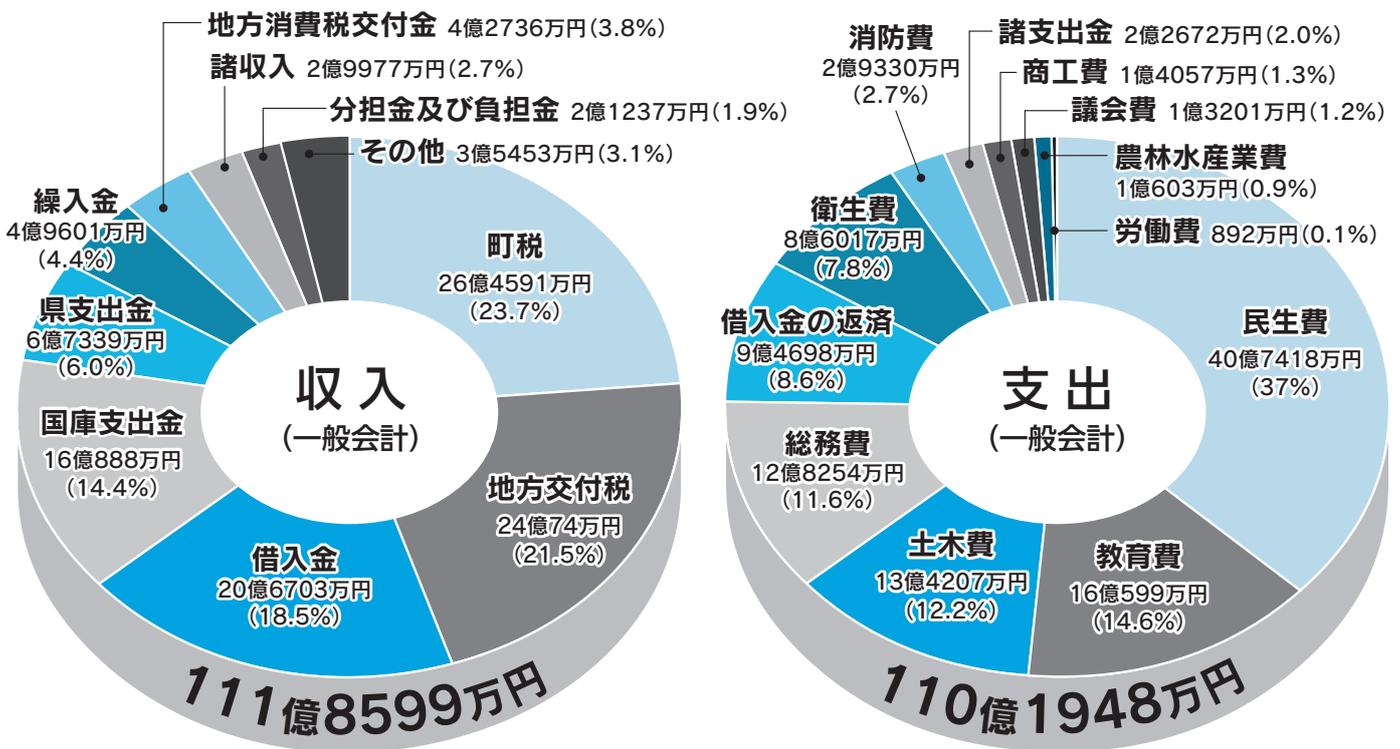
6. 自己水の確保を検討すべき

県及び金沢市から上水の供給を受けているが、災害時などに備えて自己水確保のための調査、検討を。

施設利用料金の

平成29年度決算特別委員会を設置し、平成28年度事業成果を審査しました。一般会計、各特別会計の歳入歳出決算認定と水道事業会計の剰余金は、6件の指摘・要望をつけてすべて原案のとおり認定しました。

一般会計決算



一般会計の借金と貯金

	28年度末	27年度末	26年度末
一般会計町債の計	112億2286万円	100億379万円	99億6070万円
一般会計基金の計	14億967万円	16億2149万円	15億3607万円

町民一人あたりの借金

41万7454円 (一般会計)
前年度 37万1930円

町民一人あたりの貯金

5万2435円 (一般会計)
前年度 6万285円

平成29年3月末人口 26,884人 前年度より13人減

CHECK!

税金はどう使われた？

指定金融機関

問 銀行からの借入に役場の指定金融機関は協力しないのか。

答 入札は町内全支店・金融機関に対し照会をして入札結果で一番利率の低いところから借入れをしている。町の指定金融機関は役場敷地内よりATMも引き払っており、利便性向上と合わせ、見直しの時に相談する。

内灘大橋ライトアップ

問 LED一個であらゆる色に変化できるオートチェンジャーがある。LEDは数年前はとても高かったが、ほとんど電球と変わらない値段になっている。再度積算してはどうか。

答 平成28年5月、LEDに更新した場合約2億円かかると報告した。現在どういう市場状況なのか確認したい。



創業支援事業補助金

問 元々、町で商売をしている業者にはあまり支援せず、新規の方たちばかりに手厚くしているのはおかしい。

答 現状は町内でも町外でも新規に創業した方が対象となっている。今後、町外の人の取り扱いをどうするか検討したい。町外の人を入れるか、また町内の人が事業を拡大する時に対象にするのかの2点を検討する。

問 店をやめた場合、補助金の返還はどうなるのか。担保や保証人は。また、過去にあったのか。

答 過去に2件あった。現在は3年間の義務付けで、期間内にやめた場合は補助金の返還を求めることができる要綱になっているが、担保はとっておらず誓約書だけ。

備蓄食料

問 防災対策事業で食料等の備蓄が減少している理由は。今後はどうするのか。

答 平成23年東日本大震災の時に、備蓄の大半を被災地に送り、不足分を大量に買い足した。その消費期限が3年〜5年となっており、平成28度末に5年の消費期限を迎えたものが大量にあった。今後は平準化して毎年少しずつ買い足していくつもりで一時的に減っている。1万2千食前後を目途に大体2千食ずつ買い足していこうと考えている。

どうなったかな？ 平成27年度決算の主な指摘事項

- **宿泊施設の誘致は最重要課題として取り組むべき**
→ 宿泊施設誘致に向け積極的に情報収集・情報提供に努めている。平成29年度にサイクリングターミナルを増築する。
- **公民館の耐震改修を急ぐべき**
→ 地区公民館の耐震改修工事は計画的に実施しており、平成29年度は千鳥台公民館、平成30年度は緑台公民館を実施予定。
- **町民夏まつりの開催場所は蓮湖渚公園等への変更を検討すべき**
→ 平成29年の町民夏まつりは会場を蓮湖渚公園に変更し開催し約26000人の来場者で賑わった。
- **小規模多機能型居宅介護事業所の早期再開を働きかけるべき**
→ 平成28年5月から休止となっていた「汐音うちなだ」は同年12月から事業再開している。今後も事業所と連携・協力し、サービス利用者の増加に取り組む。
- **水産資源を守り育てブランド化を検討すべき**
→ 水産資源として二枚貝の復活を目指し、内灘町漁協が主体となって平成29年5月にコタマ貝（アサリ）300kgを放流した。事業継続をしたい。

産業
建設
常任
委員
会

創業支援の補助金に
返還規定は

平成29年度より設けた

平成27年4月より始まった、創業支援事業補助金で、これまで11件の新規補助を行なっている。適正に継続していくよう委員から指摘があった。

問 創業間もなく廃業した場合、返還などを求めないのか。

答 平成29年4月より返還規定を盛り込んだ。

問 財源は国や県の補助金なのか。

答 初年度は国の補助を受けたが、それ以降は町の一般財源。

その他の質疑・意見

海水浴場

問 町運営の海水浴場、好評だったのではないか。

答 「綺麗だった」「家族連れで楽しめた」という声が多く聞かれた。

問 ごみ問題はあったと思うが。

答 ごみ箱を設置しなかったが、不法投棄は例年の半分以下だった。



白帆台小学校への新たに設置される通学路（宮坂）

宮坂地区の階段

問 冬場の積雪時など、安全対策は。

答 除雪は地元で協力をお願いしたい。滑り止め対策も施す。

福祉
文教
常任
委員
会

小児初期救急医療共同運営
施設の全体像は

現在、金沢市大手町にある夜間急病診療所が金沢市駅西に移転する。広域で共同運営するのは小児科のみで、内科は金沢市が管理運営する。小児外科はない。

問 子どもたちが救急車に乗ったら、ここに搬送されるのか。

答 町内での救急は金沢医科大学に行くが、夜間で小児専門医がいない場合など、必要に応じては行くこともある。

問 施設管理にかかる費用は。

答 移転改修費は金沢市が全額負担。今後の運営にかかるランニングコストは広域市町で按分となると思われる。

問 町負担の見込みは。

答 周知啓発に要する経費は、2万3千円、管理運営費は1万3千円の見込み。

その他の質疑・意見

問 教職員の時間外労働の報告実態は

学校にいる時間のみで、それ以外にも仕事の持ち帰りがあると聞く。教職員調整額が支給されているが、内灘町はどうか。

答 教職員調整額とは教員は学校での勤務時間外にも児童生徒のことで対応することがある。そのための手当で、一律4%。残業代はない。

問 教職員のメンタルヘルスの体制は。

答 管理職による指導や管理、また全教職員にストレスチェックを実施しており産業医によるサポート体制もある。



平成28年は700件出動

意見書の審査 と願の請



意見書

可決

道路整備事業に係る補助率等
高上げ措置の継続を求める意
見書

(賛成11人、反対1人)

○提出議員 夷藤 満
○賛成議員 中川 達
川口 正己

要旨

道路は住民生活や経済・社
会活動を支える最も重要な社
会資本だ。「道路整備事業に係
る国の財政上の特別措置に関
する法律」の規定により、平
成29年度までの時限措置で国
からの補助率等が高上げされ
ている。

迅速かつ着実な道路整備の
推進により「安全・安心の確
保」「生産性の向上による成長
力の強化」を実現するため、
平成30年度以降も道路財源に
係る補助率等の高上げ措置を
継続し、真に必要な道路整備
の補助率等の拡充、道路関係
予算所要額確保を国に求める。

審議結果一覧

9月会議で
賛否の分かれた議案一覧

議案	氏名	南 守雄	中川 達	清水 文雄	夷藤 満	北川 悦子	恩道 正博	藤井 良信	川口 正己	生田 勇人	太田 臣宣	七田 満男	磯貝 幸博	米田 一香
道路整備事業に係る補助率等高上げ措置の継続を求める意見書の提出について		○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、-議長は採決に参加しません。

ようこそ 視察受入状況

今年度、県内外からの視
察依頼が相次いでいる。
それぞれ他市町村との活
発な意見交換が行なわれた。

◆北海道 中標津議会
5月16日
合葬式墓地

◆石川県 加賀市議会
5月22日
防犯カメラの設置・運用

◆埼玉県 本庄市議会
6月26日
サイクリングターミナル
の運営・維持管理

◆群馬県 昭和村議会
10月17日
議会だよりの編集・発行

◆山形県 南陽市議会
10月23日
議会だよりの編集・発行

◆兵庫県 播磨町議会
7月6日
議会だよりの編集・発行

◆山梨県 町村議会
8月23日
議会だよりの編集・発行

◆福岡県 川崎町議会
10月25日
「ミルク王国うちなだ」
プロジェクト
・6次産業化支援事業

◆宮崎県 綾町議会
8月25日
子育て支援施設





質問と答弁の詳細は町ホームページ↓議会↓議会録画中継でご覧ください。

町政も問う

8人が登壇

一般質問 (9月7日)

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行機関に直接問うものです。

七田 満男 12

- ・北朝鮮による弾道ミサイル発射への対応は
- ・民泊について ほか1問

生田 勇人 13

- ・北部開発について
- ・地域防災力の強化について

清水 文雄 14

- ・教職員の長時間労働について
- ・内灘海岸コンフォーム内灘の賑わい創出にむけた「道の駅」化を提案する ほか1問

米田 一香 15

- ・出産後の赤ちゃんの検査費用
- ・災害備蓄管理体制の構築と地域防災力の強化について ほか3問

夷藤 満 16

- ・自動車運転免許証返納者に対する町コミュニティバス無料化について
- ・アスベスト問題について ほか2問

北川 悦子 17

- ・高齢になっても安心して暮らすために
- ・道徳の教育化をどうすすめていくのか ほか3問

太田 臣宣 18

- ・小学校の大規模改修について
- ・創業支援について ほか2問

磯貝 幸博 19

- ・DMO（官民などの連携で地域観光を推進する法人組織）で戦略的な「観光地域づくり」の推進を



題字 上野雅子さん(西荒屋)



七田 満男

ミサイル想定での避難訓練は 町長 実施に向け検討

一般質問



Jアラート 勝負は5分（輪島市訓練）

民泊

問 一般住宅などに旅行者を有料で泊める、民泊新法が早ければ来年1月に施行される予定だ。

※民泊のメリットは、観光客が増え、宿泊施設不足と空き家を解消する手段としても期待されているが、町の見解は。

答 自宅の一部や空き別荘、マンションの空室などを活用して宿泊サービスを提供するもので、町

の観光振興や経済効果の創出に貢献できるものと認識している。

問 騒音問題や防災、衛生管理などの課題もある。独自で条例で規制すべき。

答 今後、民泊サービスの普及に伴い、地域住民の生活に支障が生じないよう注視していく。必要があれば、県が条例で定めることとなる。

その他の質問

問 運転免許証自主返納しやすい環境をつくれ。

答 商工会などと協議し内容を検討したい。

※民泊

旅行者を相手に個人が所有する住宅の空室や別宅などに有料で泊めるサービスのこと。

問 弾道ミサイル落下時、身の振り方や避難方法は、
答 屋外では、近くの丈夫な建物や地下に避難。適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る。屋内では、窓から離れて、できるだけ窓のない部屋に移動。

問 再度、避難方法等のチラシを配布する。内閣府から新たな対応情報が届いたときは、早急に町のホームページなどで周知する。
答 まずは、町内の小中学校や保育所で実施を検討する。その後、町民向けの避難訓練も考える。

問 周知、啓発、町の危機管理は。



空き家を減らし魅力的な町へ（白山市）



生田 勇人

アクセス道路の新設を 連携し協議を進めたい 町長

一般質問



安心安全のため改良を

問 津幡町、津幡バイパスへのアクセス道路として、新たな位置に河北潟縦断道路を新設せよ。
河北潟地区基本構想の重点項目「農業振興や観光型農業」の拠点となり、交流人口増加や北部地区の発展にも直結する。

答 河北潟干拓地内の道路新設は、河北郡市の将来的な広域アクセス道路として大変重要だと捉え

問 河北潟堤防沿いの道路は年々交通量が増加している。自転車道と照明を設置し通勤通学の安心安全のため改良を図れ。

答 ※連携中 樞都市圏の中で、堤防を活用した遊歩道整備も含め協議する。

ている。
長期的計画と見据え、関係する自治体と連携し協議を進めていきたい。

答 消防団員の魅力発信につながる事業であり、

問 日本消防協会が消防団の活性化と福利厚生の上を掲げ、「※消防団応援の店」の全国展開を促進している。
町では過去に商工会と連携し類似施策である「安心・安全サポート事業」を県内で初の試みとして実施した経緯もある。制度導入の考えは。

地域防災力強化

問 県内では金沢市が本年6月から実施し、他4市町が準備を進めている。関係団体と協議し前向きに取り組みたい。

答 経過年数及び劣化の状況を踏まえ、更新または補修など、最適な方法を検討する。

問 消火活動の要である防火水槽の老朽化対策を問う。



PR用のパンフレット

※連携中 樞都市圏
金沢市・白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町で構成される。

※消防団応援の店
消防団活動に賛同する飲食店を始めとする事業者が、消防団員及びその家族を対象に割引などの各種サービスを提供するもので、日本消防協会が昨年からは展開する制度。HPから検索が可能で、全国的に加盟登録店のサービス提供を受けることができる。



清水 文雄

コンフォモールの賑わい創出を 町長 海岸の賑わいで活性化

問 コンフォモール内灘の賑わいなくして、町の賑わい創出はない。平成27年作成の都市計画マスタープランでは、千鳥台地区商業区域を賑わいと活気あふれる拠点とするため、商業機能の集積や魅力ある商業環境の整備等による拠点形成を図る方針だ。内灘海岸賑わい創出事業基本構想策定での考え方を聞く。



能登の入口（内灘町）

答 基本構想では、内灘海岸の賑わい創出を目指し、観光レクリエーション拠点として機能の充実に図る方針で、のと里山海道より海側に物産店や駐車場、道路などの施設整備を取りまとめた。策定は、今後、検討委員会を設置し、幅広く市民の意見を聴取し進める。内灘海岸の賑わい創出にあわせ、活性化されると考えている。

職員の長時間労働

問 4月から町内小中学校で教職員の時間外労働の実態調査がされている。内容と町の特徴点は。

答 実態は別表の通り。県平均と比較すると、小学校では月平均約10時間ほど多く、中学校では部活動の割合が若干多くなっている。

答 各学校では、研修会や会議の回数の削減、各種校務書類の簡素化を行っている。

問 長時間労働改善への対策を示せ。

中学校では週1日以上部活動休業など、業務効率化に取り組んでいる。さらに、校務電算システムの導入へ調査研究を進めたい。また、教育委員会定例会へは時間外勤務の状況報告し、長時間労働の軽減へ協議、検討している。

教職員の時間外勤務状況（平成29年4月～6月）

【小学校】

○月時間外勤務（平均）の分布

	～45時間	～60時間	～80時間	80時間～
4～6月	18.2%	20.4%	31.2%	30.2%

【中学校】

○月時間外勤務（平均）の分布

	～45時間	～60時間	～80時間	80時間～
4～6月	18.3%	7.2%	12.4%	62.1%

その他の質問

問 障害者差別解消法施行後の相談件数は。

答 社会福祉協議会へ1件あったが解決済。



米田 一香

赤ちゃんの検査に助成を

県内の取り組みを調査 町民福祉部長

一般質問



すくすく元気に大きくなーれ

問 出生後の赤ちゃんに必要な検査にかかる費用の状況は。

答 先天性代謝異常検査は、全ての新生児を対象に県の公費負担により行なわれている。採血は実費負担である。新生児聴覚検査は費用の公費負担制度はない。

問 県外にはすでに独自で検査費用を助成している自治体がある。

答 赤ちゃんの健やかな成長・発達のためには、早期発見と早期治療、早期からの支援が大切だ。重要な検査という視点から、また子育て世帯への経済的な支援という観点から、必要な検査にかかる費用の実費負担分を町独自で助成せよ。

問 県内自治体の取り組み状況を調査研究する。

問 指定福祉避難所の避難対象者の想定は。

答 現在1889人。災害時には各地区自主防災組織等に情報提供する。迅速な避難支援を行うため、本人の同意が得られた方のみ、平時から情報の提供をしている。

問 平成29年2月策定の避難行動要支援者名簿の人数と活用方法は。

答 町内2カ所で約60人の避難が可能。今後は高齢者や障害児のデイサービス施設も指定できないか協力を依頼する。

問 ※K-DIPSアプリを用い、災害弱者を可視化し、地域に必要な備蓄量を算定できる。町での導入を図れ。

答 現時点で活用は考えていない。



家族みんなで備えよう

その他の質問

問 女性活躍推進法に基づく市町村推進計画は。

答 来年3月に町行動計画改定版を策定する。

問 町内全ての子供を対象に病児保育料助成を。

答 町単独で助成対象拡大は現在考えていない。

問 長寿祝い制度とほのぼの湯の料金見直しを。

答 改正案を10月の文教福祉常任委員会に示す。

※K-DIPS

金沢医科大学と株式会社パブリッシングの産学連携によって、災害に備えるまちづくりのシステム開発の取り組みとして開発された電子アプリ。



夷藤 満

後期高齢者の移動支援を 回数券の配布を検討

町長



外出機会の確保を

問 自動車運転免許証自主返納した人数は。

答 平成25年度からの累計は225名。

問 免許証の返納者と後期高齢者を対象に、コミュニティバス無料化の考えはないか。

答 返納者を無料にすることは、免許証の有無で不公平感が生じ、難しい。

後期高齢者は、外出機会を促進し、福祉の面でサービスが必要と考えており、コミュニティバスの回数券の配布が可能か今後検討していきたい。

答 来年4月からのルート見直しとバス増便を進め利便性の向上と収入の確保を目指す。



解体される旧緑台保育所

アスベスト対策

問 アスベストは静かな時限爆弾と呼ばれ、数十年の潜伏期間を経て中皮腫や肺がんを引き起こし、これまで労災認定などの対象者は全国で2万人を超える。

今年度解体経費が計上された旧緑台保育所のアスベスト調査はどうなっているか。

また、千鳥台公民館とサイクリングターミナルも調査するのか。

答 旧緑台保育所は、解体調査でアスベストの含有が確認された。

千鳥台公民館とサイクリングターミナルは、改修事前に調査を行ない、アスベストが確認された場合は飛散がないよう対応したい。

今後、施設の解体と改修工事等には、平成26年の法改正に沿った事前調査を行ない、法令に従い対応していく。

その他の質問

問 ケーブルテレビで言葉や耳の不自由な方に災害情報や避難誘導を。

答 文字放送システム情報を伝達することは可能。

問 総合公園内に※スケートパークを整備せよ。

答 現在の計画にはない。

※スケートパーク
スケートボード等を
楽しむため、ジャンプ
台などの構造物が設置
された運動施設。



北川 悦子

孤独死を防ぐ対応策は 見守り活動を充実させる 町長

一般質問



県健康クラブ交歓大会（内灘町健康クラブ）

問 孤独死や孤立死が増えているのではないかと、地域と行政との連携が重要だ。

答 問題への取り組みとして民生児童委員の見守り活動がある。

地域協定を結び、利用者に異変があった際に通報する体制を構築している。地域包括支援センターの活動をさらに充実させ、高齢者の抱える不安などに対応する。

問 公民館使用料を町会外の方が借りる場合、シニア減免制度をつくれ。

答 現行制度を維持。広域は考えていない。

道徳の教育化

問 道徳の教科化が小学校は平成30年、中学校は平成31年から始まる。

もし、道徳に成績をつけることになれば、教科書により政府が定めた生き方や価値観を一つの物差しで子どもたちの生き方の善し悪しを決めてしまうことになる。



道徳の授業（鶴ヶ丘小学校）

答 戦前教育のようなくとをやるうとは誰も考えていない。

生命の尊さ、善悪の判断、礼儀、友情、公共の精神等を人の生き方や色々なことから学ぶことが道徳だ。

その他の質問

問 子ども医療費の自己負担総額を問う。

答 平成28年度で約1500万円となる。

問 町の健康診断に眼科検診を追加せよ。

答 金沢市や他の取り組み事例を調査研究する。

問 林帯遊歩道の維持管理は。

答 職員が随時、巡回と点検を行なっている。

大根布小の大規模改修を

教育長 来年度より実施設計



太田 臣宣

問 大規模改修が必要な時期に来ており、国庫補助事業の大規模改修は、前回からおおむね20年経過が対象である。来年度に実施設計し、平成31年度に改修工事を行なう計画だ。

答 大規模改修が必要な時期に来ており、国庫補助事業の大規模改修は、前回からおおむね20年経過が対象である。来年度に実施設計し、平成31年度に改修工事を行なう計画だ。

問 これまでにも暖房設備が老朽化している報告があった。冷暖房設備として更新してはどうか。

答 この数年の間に、暖房設備の故障が何度かあった。改修にあわせて冷暖房機に入れかえる計画したい。また小学校の普通教室にも順次冷房設備の設置を進めていく。



よりよい学習環境を

創業支援事業補助金

問 空き店舗の解消が町の活性化につながる。制度の周知徹底とPRを図り、さらなる町の活性化に取り組まなければならない。

答 この事業は商工会の会員の増加だけでなく、町の景観保全や空き店舗の解消にもつながっていくと考える。来年度も創業支援事業補助金を継続していく考えはあるか。

問 町内の小規模事業は高齢化や後継者不足により廃業する方が増加しており、今後も町の活力を維持していくためには支援施策が必要と考える。現在実施している内灘町創業支援事業補助金交付要綱では、実施期間を今年度限りと定めているが、対象者を町民に限定するなど制度の見直しを検討し、来年度以降も継続したい。

答 町内の小規模事業は高齢化や後継者不足により廃業する方が増加しており、今後も町の活力を維持していくためには支援施策が必要と考える。現在実施している内灘町創業支援事業補助金交付要綱では、実施期間を今年度限りと定めているが、対象者を町民に限定するなど制度の見直しを検討し、来年度以降も継続したい。



ハード系のパンをお手頃に（ブリーズドゥメール）

その他の質問

問 住宅リフォーム助成事業の再開は。

答 地域経済の状況を見据え検討したい。

問 マイホーム取得奨励金を来年度拡充せよ。

答 前向きに検討する。



磯貝 幸博

DMOで観光地域づくりを

観光協会の組織強化が必要 都市整備部 担当部長

一般質問



内灘海岸に惹かれて

問 地域の「稼ぐ力」を引き出し、観光地域化を進めるため、観光産業と商工業を強く結び、観光地経営の視点に立つ総合戦略窓口として※DMOを設置せよ。

答 まずは町観光協会の体制整備、組織の強化が必要だ。観光産業を取り巻く環境が整っていないため、DMOの取り組みは調査研究をしていく。

問 駅前に観光案内所が設置され、8月までに326人、うち外国人は107人が訪れ、旅行者数が具体的に示された。町は、案内所の設置と調査をどう捉えたのか。

答 内灘町を訪れる旅行者が増加している。旅行者の利便性を図り、観光情報を発信する上でも、観光案内所は重要である。

答 観光協会と協議をし、どのような課題と解決策があるか検討していく。1日当たりの利用者が少なく、費用対効果の面からも常設化は難しい。

問 海水浴場の情報共有、問い合わせへの対応等の課題解決に向け、案内所の平日の開所や時間の延長、旅行者の動向調査を行なえるよう、常設化へ向けた考えはあるか。

答 観光協会のメンバーも含め、幅広く町民の意見を聴取しながら策定を進めたい。

問 内灘駅前と海岸は関連が深く切り離せない。観光地域化をどう進めていくのか。



常設化が望まれる駅前観光案内所

※DMO 「観光地経営」の視点に立ち、観光地域づくりの舵取りの役割を果たす法人。関係団体を取りまとめ、総合窓口として機能する。

姉妹都市

北海道羽幌町



羽幌町とは、昭和55年の姉妹都市提携後より今日に至るまで、子ども達のスポーツ・文化交流、民間交流、近年は互いの特産品PRを行なうなど積極的な交流を続けています。

羽幌炭鉱跡地を視察

今回の訪問では、昭和15年の採炭から昭和45年の閉山まで隆盛を誇った「羽幌炭鉱」を視察しました。当時、人口は3万人を超え、炭鉱で働く人や家族の福利厚生が進んでおり、最新の映画・宝塚・歌謡祭など多くの催しがあったようです。当町も北陸の宝塚と言われた栗ヶ崎遊園があったことから羽幌町をより身近に感じることが出来ました。当時のまま荒れ放題となっている炭鉱跡でしたが、現在、映画のロケ地にもなっており、今後の観光地化の検討が課題とのことでした。

平成29年10月3日～6日 姉妹都市と友好都市を全議員で親善訪問

友好都市提携後
議会正式訪問

北海道猿払村

友好都市

猿払村とは平成27年10月に友好都市提携し、現在、夏祭り等で相互に特産品のPRを行なうなど交流を進めているところです。今回、友好提携後、議会として正式に訪問視察を行ないました。

小学校間交流事業

今回初の試みで、鬼志別小学校と西荒屋小学校の児童が双方向通信システムで、同時に給食を味わいました。両町の特産品を使った給食を互いに見ながら、音声と映像で楽しい昼食となっていました。様々な交流を行ないながら、両町村の良いところを高め、今後の交流が深まることを願っております。



ホタテ総合水産加工場

平成28年新設された村の基幹産業であるホタテ総合水産加工場を視察しました。水揚げされたホタテを乾燥ホタテに加工し、商品として付加価値をつけて国内外に販売しており、六次産業として確立し、村の人々の雇用にも貢献していました。

その他猿払村内視察

- ・小規模多機能型居宅介護施設 楽楽心(ららは一と)
- ・牛乳と肉の館

一般質問のゆくえ

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

チャレンジショップ・チャレンジ育成 事業で町の活性化を促進せよ

創業支援事業が進まない中、今後どうする
のか。

平成27年12月会議 七田 満男

答 弁

先進事例を調査研究し、 具体的な支援策を検討する

より使いやすい制度へと見直し、商工会等
と連携を強化し周知啓発に努める。

その後

平成28年4月 賃借も助成対象に

創業に要する改装工事費等の2分の1
(上限50万円)の助成に加え、賃借料の3
分の2(上限10万円/月)も助成を開始
しました。



支援事業第1号店

サッカー場には 人工芝を整備せよ

人工芝は、芝の管理や修繕費用もかからず、
長期で考えると維持管理費の削減につながる。

平成23年9月議会 太田 臣宣

答 弁

平成23年度中に計画の見直しを 行ないたい

平成24年度実施設計を行ない、平成27年
度までに整備を図りたい。

その後

平成27年3月 総合公園内に完成

平成27年4月1日から利用されています。
試合用の一般コートでは1面、少年用コート
では2面が使用できます。



日本サッカー協会公認人工芝コート



有権者が求めることも禁止 西村 宗



議会を傍聴しませんか

次の定例会議は12月に開催されます。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

傍聴の受付は当日、庁舎3階エレベータ横で行なっています。

議会事務局
TEL286-6715

- 広報対策特別委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 米田 一香 |
| 副委員長 | 生田 勇人 |
| 委員 | 磯貝 幸博 |
| 委員 | 七田 満男 |
| 委員 | 川口 正己 |

〔生田 勇人〕

我々編集委員も、町の施策や議会議論をもっと解りやすく、政治をより身近に感じて頂ける「うちなだ議会だより」となるよう、今後も誌面編纂に磨きをかけていく所存です。

街かどインタビュー

お店屋さんシリーズ ①



今回は地元牛乳を使ったオリジナルメニューを提供している「ミルク王国の店」の中から3名の方に話を伺いました。

- 質問項目
- ①何屋さんですか？
 - ②自慢の一品は？
 - ③ミルク王国の商品名を教えてください。
 - ④商品開発までのご苦労やおススメポイントなど。
 - ⑤休日の過ごし方や趣味は？
 - ⑥理想の町はどんな町？
 - ⑦町へ望むこと。
- ご協力ありがとうございました。
インタビューー 米田 一香

山崎由紀子さん・恵津子さん



- るびな・ばいざべい 大根布7
- ①インド料理屋です。
 - ②ミルク王国の品でもあるほうれん草と自家製チーズのカレー。
 - ③ラッシーなど色々あります。
 - ④16年前に開店した時から使っています。インド料理には自家製のチーズとヨーグルトが欠かせない。色々試し、一番合っていたのが河北潟の牛乳でした。
 - ⑤姉妹2人で食べ歩きです。
 - ⑥内灘に来れば何かあるかも！と人が自然と集まってくるような賑わっている町。
 - ⑦宿泊施設とホームセンターを誘致してほしいですね。

浅井泰彦さん



- 灘乃華本舗あさ井 旭ヶ丘
- ①和菓子屋です。
 - ②今の季節だと能登栗を使った栗最中や栗きんとん。栗が無くなり次第終了です。
 - ③内灘金時。11月に新商品販売予定なので楽しみに。
 - ④中の餡のさつまいもの風味と牛乳の割合の調整が難しく苦労しました。
 - ⑤買い物や趣味の掃除です。
 - ⑥みんなが笑っている町。
 - ⑦能登へつながらる(のと里山海道)道の駅の整備。

前田利幸さん



- はねや 向陽台1
- ①和食屋です。
 - ②季節の食材を使った品。今からだと牡蠣・河豚・蟹料理です。
 - ③ぷりんプリンとみるく豆腐。不思議なことに50〜60代の男性に人気がありびっくり。
 - ④みるく豆腐の柔らかさと口当たりのよさを出すのが難しかったです。
 - ⑤のんびり過ごす。
 - ⑥訪れてみたいくなる町。
 - ⑦町の風景写真をもっと沢山HPにアップしてPRしては。

編集後記

今回の議会だより編集は、議会視察や衆議院議員総選挙など、何かと慌ただしい中での作業となりましたが、委員が力を合わせ、「議会終了後50日以内の発行」に間に合わせる事が出来て、ホッと胸を撫で下ろしているところです。

衆議院選挙は政権選択選挙。皆様それぞれの思いが、今後の国政や地方自治に反映されて行くことを願っております。

